

～ 誰もが自分らしく輝ける未来へ ～

男女共同参画がつくる 多様性の社会



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和8年6月1日（月）～6月30日（火）



【男女共同参画がつくる多様性の社会】①

北陸農政局 農山漁村 男女共同参画優良事例表彰

北陸農政局の管内において、農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して、経営参画や社会参画等の優良な取組を行っている方を表彰し、その活動事例を広く紹介しています。

令和7年度の受賞者

新潟県村上市	加藤 雪子 氏
新潟県新発田市	櫻井 美代子 氏
富山県富山市	池田 薫 氏
石川県金沢市	農事組合法人 蓮だより 川端 美希子 氏
福井県あわら市	有限会社 黒川産業

関連コンテンツ



北陸農政局農山漁村
男女共同参画優良事例表彰



女性の活躍を応援します
(北陸管内の取組等)

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

加藤 雪子 氏

新潟県村上市

農家レストラン「こころまい」を経営 (平成26年～)

築160年の自宅を改装し、地元・大毎(おおごと)集落産の米や野菜、山菜を使った料理を提供。肉や魚を使わない旬のメニューが好評で、店内での特産品販売を通じて集落の農家所得向上にも貢献。使用する米は、夫が育てる「大毎心米」であり、平成名水百選に選定された「吉祥清水」で栽培している。



地域活性化と女性の活躍推進

令和4年より新潟県農村地域生活アドバイザー連絡会会長に就任。新規会員獲得に尽力し、3年間で14名を認定に導いた。令和5年からは県内各地でマルシェを開催し、会員の所得向上と交流促進を実現。経営する農家レストランでは、柔軟な勤務体制を整備し、地域の女性が家庭と仕事を両立しながら活躍できる仕組みを構築することで、地域活性化に貢献している。

次世代育成と食育活動

地元小学生に農作業体験を提供し、自然や食文化の大切さを伝え、地域とのつながりを深めている。また、大学生のインターンシップ受入を通じて、農業の魅力を発信し、担い手育成に貢献している。

地域イベントと交流促進

女性グループ「ハッピーフラワー」会長として、集落行事の企画・運営を担当。名水まつりの復活や新イベントの実施に向けて地域と連携。コロナ禍では世代間交流を目的に食育イベントを開催している。



農家レストランで提供する料理



マルシェ参加時の様子



地元小学生の農作業体験

【男女共同参画がつくる多様性の社会】②

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

櫻井 美代子 氏

新潟県新発田市

農業委員活動と食農理解促進

平成23年から9年間、農業委員として農地の集積・集約化に関する相談対応や農地転用の調整を行い、地域農業の維持・向上に寄与。女性の視点を生かした地域農業の発展に取り組んできた。さらに、平成10年度に新潟県農村地域生活アドバイザーに認定され、食や農の理解促進に関する行政活動に関与し、地域と関係機関をつなぐ役割を担っている。



地域女性リーダーとしての活躍

旧JA北越後(現JA北新潟)女性部において平成25年度から支部長を務め、部長や新潟県女性組織協議会会長など組織の中核を担う役職を歴任。JA合併後も新組織でリーダーシップを発揮し、農村女性の参画促進に尽力。農村女性の活動参加が減少する中、部員の意見を反映したイベントや交流の場を企画し、女性が主体的に活動できる組織づくりを推進。令和5年度には、JA新潟女性協創立70周年記念事業を会長として成功に導き、女性組織の結束強化に貢献。

食育と次世代育成への取組

平成30年に始めた保育園・幼稚園訪問活動は、現在18園へ拡大。幼少期に米食の大切さや美味しさを伝え、紙コップでおにぎりを作るなど五感を使った体験を提供し、食と生産のつながりや作り手への理解を深める機会となっている。さらに、夏休みには小学生親子向け「子どもクッキング」を開催し、地元食材を使った調理体験で食文化理解を促進している。



北新潟女性部設立総会の様子



記念事業式典挨拶



保育園への訪問活動

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

池田 薫 氏

富山県富山市

養蜂を通じた 地域ブランド化と事業展開

平成22年に養蜂家の記事をきっかけに就農を決意し、翌年養蜂を開始。その後、直売店舗「はちみつや」を開設。キッチンカーで「はちみつレモン」などを販売している。県内外のイベント出店や洋菓子店との取引を拡大し、地域経済の活性化に貢献。令和6年には、NPO法人みつばち協会理事長に就任し、地域ブランドの確立に向けて取り組む。



若手養蜂家育成と施設園芸との連携

養蜂場を教育の場として提供し、巣箱設置から採蜜までを指導。16組の若手養蜂家を育成し、技術継承に貢献。さらに、いちご農家などに交配用蜂を供給し、受粉効率化と高品質果実生産を支援、地域農業の発展に寄与。

消費者との交流と啓発活動

親子で楽しむミツロウキャンドル作り体験を開催し、蜂や自然環境への理解を深める場を創出。直売店舗はちみつやでは「みつばちと共にある暮らし」をテーマに、自然との共生を感じられる空間を提供している。

情報発信と次世代育成

SNSで商品やイベント情報を発信し、養蜂の魅力や楽しさを広く伝えている。写真撮影や投稿技術の講習会への参加を周囲に斡旋し、情報発信力と経営スキル向上を積極的に支援している。



イベント出店の様子



呉羽山の養蜂場



キッチンカー

【男女共同参画がつくる多様性の社会】③

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

農事組合法人 蓮だより 川端 美希子 氏 石川県金沢市

規格外れんこんを活かした 持続可能な取組

平成18年に夫の脱サラをきっかけに農業を手伝い始め、平成22年に本格的に就農。平成24年には自社加工場を整備し、規格外れんこんを活用した「レンコンチップス」の販売を開始。パリッとした食感と自然な甘みが好評で、多くの消費者に愛されリピーターも増えている。



女性農業者グループでの活動

平成25年に「石川なないろ～I☆M☆J～」発足メンバーとして活動開始。農作業に従事する女性の悩みから生まれた“口に入っても安全なハンドクリーム”を県内化粧品メーカーと共同開発し、累計販売本数5,000本を達成。平成31年からは「金沢農女」発足メンバーとして活動を開始し、バターナッツかぼちゃを使ったジェラート店とのコラボなど、農業の楽しさを発信。今年度は役員に就任し、女性が活躍できる環境づくりに尽力。

農産物の魅力発信と販路拡大

レンコンチップスをはじめ、カレーやピクルスなど加工品を開発し、加賀れんこんのブランド力向上に貢献。首都圏のマルシェにも積極的に参加し、地域農業の新たな可能性を追求している。

多様な人材育成と経営の工夫

外国人実習生を受け入れ、作業指導や生活面のサポートで安心して働ける環境を整備。梱包・出荷やPOP制作に工夫を凝らし、女性ならではの視点で経営改善に貢献。



レンコンチップス



イベント出店時の様子



共同開発品

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

有限会社 黒川産業

福井県あわら市

福地鶏ブランドの確立と 養鶏事業の発展に向けた取組

代表の公美子氏は、平成28年に福地鶏推進協議会会長に就任し、生産計画やブランド方針を主導。生産者間の連携強化やブランド価値向上に向け、協議会活動や情報発信にも力を注いでいる。また、鶏の健全性を重視し、地元の規格外野菜を飼料に活用するなど、地域資源の循環に取り組んでいる。



農畜産物の魅力発信と販路拡大

規格外卵を活用したプリンやカステラ、カレーなどの加工品を開発し、福地鶏ブランドの価値向上に貢献。キッチンカーで県内イベントに積極的に出店し、消費者との対話を通じて商品改良を進める。ふるさと納税返礼品やネクストブレイク商品にも認定され、地域農業の新たな可能性を追求している。

食文化の継承と食育活動

地域中学校の文化祭で郷土料理と福地鶏を組み合わせたメニュー開発を支援し、食文化の理解促進に寄与。イベントや学校での食育活動を通じて、「いのちをいただく」意識や食への感謝を伝え、子どもたちの食意識醸成に貢献している。

職場環境と次世代育成

加工部門では女性の視点を活かし、安心安全な商品づくりを推進。性別を問わず意見を尊重する職場環境を整備。娘の友紀子氏は外部評価委員や大学特任講師として専門性を発揮し、インターンシップ受入により若手育成にも尽力している。



福地鶏



キッチンカー



6次化商品

【男女共同参画がつくる多様性の社会】④

農業委員ってどんなお仕事？ 農業と委員の仕事をどのように両立しているのだろう？

女性農業委員の1日に密着しました！



ひさな 山崎 穂苗 史絵さん [富山県魚津市農業委員会]

プロフィール

- ・富山県黒部市生まれ
- ・農業委員2期目(4年目)
- ・(株)NOROSHI FARM 取締役
- ・30ha規模で米を生産。おやき、おにぎりなどの加工品販売も行う。

穂苗さんのある1日のスケジュール

- 06:00 朝礼/会社の事務作業
毎朝スタッフ全員で朝礼をして、各自のやることを共有！
穂苗さん中心にメール対応など事務作業と加工業務をするチームと、生産管理をするチームに分かれて作業をスタート。
8月にオープンを控えるおにぎり屋さんのために、スタッフみんなで握り具合や具の味付けの試作。お米を買ってくださる常連さんが来てくれて、うれしいフィードバックも。
- 10:00 担当地区の見回り 委員
松倉地区の委員と一緒に、農地の見回り。先輩委員に土地の由縁も教わる。
- 14:00 農業委員会への出席 委員
農業委員2期目のはじまり。新たな気持ちで、地区のことを学びながら進んでいく。



全国の女性委員のネットワークがあり、味方になってくれる方たちがいます。地域でも熱い思いを伝えれば、必ず助けてくださる方がいます。地域での活動や人脈の幅も広がりますので、ぜひみなさんに農業委員になってもらいたいです！(穂苗さん)



「農地法」はどうやって勉強する？

農業委員になったら、難しい「農地法」を勉強しないといけないのではと心配される方もいらっしゃるかと思います。もちろん個人の勉強が必要な部分もありますが、委員になった方には、農地法のテキストブックの配布や、市町村によ

て「農地法の研修会」も実施され、新任委員へのフォローアップが行われています。わからないことは気軽に事務局に相談できますので、安心して委員になることができます。



かさはら なおみ 笠原 尚美さん [新潟県阿賀野市農業委員会]

プロフィール

- ・新潟県阿賀野市生まれ
- ・農業委員8期目(24年目)
- ・「にいがた女性農業委員の会」会長
- ・笠原農場として、米、枝豆、切り花を生産。
- ・全国農業委員会女性協議会副会長

笠原さんのある1日のスケジュール

- 06:00 田んぼの草取り
機械では取れない草を手で刈っていく。
暑いので早朝作業！
- 10:00 担当地区の見回り 委員
旧京ヶ瀬村全域の地区総括として、営農の傍ら農地を見守る。
- 13:00 農業委員会4役との打ち合わせ 委員
2023年度の大きな動きは「地域計画の策定」。地区ごとに情報共有をして、阿賀野市全体の進み具合などを確認する。
- 14:00 地域計画説明会対応 委員
京ヶ瀬地区の各集落代表が集まり、今後の流れや方針の共有。様々な意見が飛び交ったが、ひとつ前進。



農家さんの話をよく聴いて、その話のなかから何をすべきなのかを見つけていくようにしています。農地のあっせん業務も、地域計画も、その先の地域農業をつくっていくところでも、「人の思いを聴く」ということは同じだと思っています。(笠原さん)



農業委員が関わる「地域計画の策定」とは？

地域計画とは、おおむね10年後の地域の農地利用の姿を具体化するもので、農地一筆ごとに耕作者を特定していきます。計画の策定にあたって農業委員会は、農業を担う者ごとに利用する農地を示した地図(目標地図)の素案作成や、目標地図を作成するための意向把握(戸別訪問やアンケートによる)、地域の話し合いへの参加などの役割を担います。10年後にも今と同じ

姿で地域の農業を続けていくためには、地域が一体となつて、この計画作りに取り組むことが必要です。農業委員と農地利用最適化推進委員は、地域の話し合いの中で、農業者の意見を丁寧に聴き取りながら、地域に根付いた計画となるように協力していくことが期待されています。

※取材は2023年7月に行われました

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑤

活躍する 女性農業経営者3名の ターニングポイントとは？



◀ 座談会の動画はこちら
動画も併せて、ご視聴ください！

3名の経営者のみなさんは、就農のきっかけ、キャリア、得意分野は違えど、主体的に経営に参画し、さらに経営を発展させてきました。本資料では、それぞれの就農のきっかけや、経営のターニングポイントなどをご紹介します。「自分はこれから、どんな経営者になっていきたいだろう？」とイメージしながら、本資料を読んでみてください。動画本編では、就農時に大変だったこと、経営発展の背景、これからのビジョンについても3名に語り合ってもらいました。



おおつが さん
大塚 早苗さん 有限会社大塚ファーム 取締役副社長 (北海道新篠津村)

18haで米や有機野菜(ミニトマトやきゅうりなど20品目以上)を生産。干し芋の加工販売も手掛ける。北海道指導農業者、日本農業法人協会女性の会「やまと凛々アグリネット」副会長、北海道食の安心安全委員を務める。

Q. 就農のきっかけは？

会社員をしていましたが、結婚・出産するなら田舎で！と思い立ち、新篠津村主催の農村嫁来いツアーに参加。夫と出会い結婚したのがきっかけです。

Q. 経営のターニングポイントは、 どんなことでしたか？

「プリン飛び込み販売！」

就農7年目の頃、売り先もないままに作った自社ブランドの野菜プリンを直売所等で販売していたところ、賞味期限切れのプリンが流出。ここまではいけないと思い、地元や近隣の町を回って売って歩きました。その経験から、以前よりも経営に関わるようになったり、商談会に参加して取引先を確保するといった販路拡大の業務を担うようになりました。

座談会コーディネーター
株式会社 米の人 代表取締役

きたの さん
北埜 修司さん

2008年創業。農業経営コンサルティングと農産物流通の業務を行っている。農業振興施策に関するプランニングや農業経営塾などの行政業務の実績多数。座右の銘は、「経営に近道なし。行動が扉を開く」

今回の座談会を通じて感じたのは「行動すること」の大切さ。
この動画をヒントに、ぜひみなさんも新たな扉を開いてください。



おおよし さん
大吉 枝美さん 株式会社大吉農園 専務取締役
株式会社 E5・ナチュール 代表取締役 (鹿児島県指宿市)

53haでキャベツや枝豆など10品目以上を生産。アジア地域への輸出にも力を入れている。GFPアンバサダー、JGAP指導員、ASIAGAP指導員、鹿児島県女性農業経営士、鹿児島県農業指導士を務める。

Q. 就農のきっかけは？

看護師の仕事をしていましたが、夫が祖父の畑を継いで就農したことをきっかけに、わたしも就農しました。

Q. 経営のターニングポイントは、 どんなことでしたか？

「市場出荷に切り替えたこと」

就農4年目の頃、市場出荷に切り替えました。当初は品質に対するダメ出しもありましたが、おかげで品質向上につながり、農場を指名してもらえるように。加えて、2014年の女性農業次世代リーダー育成成塾で1期生として学び、マルシェや商談会の経験ができたことで自社のブランディングの大切さを感じました。実際に付加価値をつけての販売に取り組むことによって、スタッフの生産に対するモチベーションアップにも繋がり、より良いものを生産する意識が向上したと感じています。



いのうえ さん
井上 真梨子さん 株式会社 FARM1739 代表取締役
販売会社 TINTS 株式会社 取締役 (栃木県那須町)

32haで米を生産。お米の加工品開発にも力を入れ、オリジナルのボン菓子が発売5年で累計5万袋を、米粉のカヌレは発売半年で6千個以上を販売し、ブランド展開を進めている。

Q. 就農のきっかけは？

岡山でカフェ経営をしていましたが、父の病を機に栃木へUターン。夫とともに農業をはじめました。

Q. 経営のターニングポイントは、 どんなことでしたか？

「みんなの幸せを考えたこと」

就農1年目の頃、農園では両親から引き継いだお米とアスパラを手がけており、早朝から深夜まで忙しく働いたにもかかわらず利益が残っていませんでした。原因は「作付優先、販売戦略なき事業拡大」で、両親に反対されながらもアスパラを辞め、お米に絞る決断をしました。お米以外の選択肢もあった中で、地域の風景やコミュニティにおける田んぼの意義、影響度を考え、お米の価値を高めていくことに舵をきりました。

成長につながったスキル

- 失敗は成功のもと！と考え、同じ失敗を繰り返さないようPDCAを回すこと
- 近隣農家さんとのコミュニケーションにより学んだ、地域風土にあった栽培

Q. 大吉さんの“経営者視点”

いい品質のものをつくるためには、スタッフの育成が大切と認識。農業指導員の認定を受け、スタッフにとってわかりやすいマニュアルや体制づくりを行っています。



成長につながったスキル

- 5年間のカフェの経営経験で学んだ、加工・販売力
- システムエンジニアとしてのキャリアで得たパソコンスキル
- 監査法人でのキャリアで得た、会計スキル

Q. 井上さんの“経営者視点”

販売会社であるTINTS株式会社を立上げ、ブランディングを実施することで知名度・売り上げを上げることができました。また、税理士に依頼し会計を明らかにすることで、銀行や行政との信頼関係を築いています。

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑥

女性活躍の推進に向けた動画コンテンツ（令和5・6年度作成）

- ・ 女性が変わる未来の農業推進事業において、農業委員会や農協における女性登用の事例や地域の役割分担に関する意識啓発、女性リーダーの育成を推進するための動画を作成し、配信しています。
- ・ 男女を問わず、女性の経営参画・経営発展や地域のリーダーに関心のある方はぜひご覧ください！

性別に基づく一方的な思い込み ～地域における役割・分担の再点検～

「女性が家事を行うべき」、「男性が組織の主要な役割を担うべき」など、ときに農業組織や地域における女性の参画・登用の障壁ともなる性別に基づく一方的な思い込みや固定的な性別役割分担意識について取り上げています。男女の農業者の皆様アンケートを実施しつつ、その結果も踏まえ事例（ドラマ）を展開、解決方法なども紹介しています。

身近にある性別に基づく一方的な思い込み
(固定的な性別役割分担意識)の例

CASE 1

「女性は機械操作が苦手だから、機械のことは男性が決めた方がいい」

女性も機械を使う作業をしている。それなのに機械のことを男性が全て決めるのは疑問。

CASE 2

「女性や嫁の仕事や意見は補助的なもの」

女性や嫁の仕事は「補助する役割」と決めつけられてしまうのは不安。

CASE 3

「農産物の加工や加工品販売は女性の仕事」

加工の仕事は女性だけの仕事ではないのに、スキルを伸ばさず残念。

トップが導く女性活躍 ～JAみなみ筑後の事例から～

女性の理事登用を組織トップが先導しつつ組織一丸となって積極的に進めている福岡県JAみなみ筑後の取組を取り上げています。

女性登用の仕組み作りを先導した、当時と現在の組合長をはじめとする関係者の皆様にインタビューし、女性の参画や登用を進めるに至った経緯や取組の進め方等を紹介しています。



ご協力いただいたJAみなみ筑後関係者

- 鍋田 博敏さん (JAみなみ筑後総務部長)
- 柿原 幸雄さん (JA福岡中央会会長・元JAみなみ筑後代表理事組合長)
- 柿原 光行さん (JAみなみ筑後代表理事専務)
- 大坪 康志さん (JAみなみ筑後代表理事組合長)
- 只隈 貞子さん (JAみなみ筑後理事 (2期目))

リンク先のWEBサイト（myfarm.co.jp/women/empowerment/）よりコンテンツの視聴が可能です！

<https://myfarm.co.jp/women/empowerment/>



女性が活躍中！

地域農業の未来をつくる農業委員の1日
女性農業委員のとある1日を密着取材し、地域での活動の様子や想い、パートナーや周りの農業委員の声などを紹介しています。



ご協力いただいた女性農業委員

- 梶苗 史絵さん (富山県魚津市農業委員会)
- 笠原 尚美さん (新潟県阿賀野市農業委員会)

女性農業経営者3名に聞いた、「わたしのターニングポイント」 一歩踏み出すわたしの農業経営ヒント

経営に参画し、地域で活躍する女性農業者に、就農や経営発展のきっかけ、女性活躍に必要なと思うこと等を座談会形式で紹介しています。



ご協力いただいた女性農業経営者

- 大吉 枝美さん ((株)大吉農園：鹿児島県)
- 井上 真梨子さん ((株)Farm1739：栃木県)
- 大塚 早苗さん ((有)大塚ファーム：北海道)

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑦

性別に基づく一方的な思い込み ～地域における役割・分担の再点検～

私たちの地域は、様々な人が力を出し合い、支えています。同時に、私たちは時に自分たちの役割や仕事の分担、地域への関わり方などを、「性別」によって決めつけてしまうことがあります。これは「固定的な性別役割分担意識」と呼ばれ、受け止める相手のやる気をなくしたり、組織のパフォーマンスを落とすなど、個人や地域・社会にマイナスの影響を及ぼすことがあります。様々な人が地域や組織で能力を発揮していくには、性別に関係なく、皆が意見や挑戦しやすい環境作りが欠かせません。今回、実際に農業に従事する方々の声をもとに、私たちを取り巻く性別に基づく一歩的な思い込み（固定的な性別役割分担意識）に関する研修用の映像を作成しました。

女性をはじめ、誰もが活躍できる地域や組織の構築を目指し、身の回りに性別に基づく一方的な思い込みはないか、現状を振り返ってみませんか？

動画では、性別に基づく一方的な思い込み（固定的な性別役割分担意識）をテーマにした3つの再現ドラマと問題のポイントを紹介しています。

動画視聴はこちらから➡

<https://myfarm.co.jp/women/empowerment/>
(映像の長さ:21分43秒)



身近にある性別に基づく一方的な思い込み (固定的な性別役割分担意識)の例

CASE 1



「女性は機械操作が苦手だから、
機械のことは男性が決めた方がいい」

女性も機械を使う作業をしている。
それなのに機械のことを男性が全て決めるのは疑問。



CASE 2



「女性や嫁の仕事や意見は補助的なもの」

女性や嫁の仕事や「補助する役割」と
決めつけられてしまうのは不安。



CASE 3



「農産物の加工や加工品販売は女性の仕事」

加工の仕事は女性だけの仕事ではないのに、
スキルを伸ばせず残念。



「固定的な性別役割分担意識」を乗り越えるために

私たちは、年齢や性別、出身地といった属性から、これまでに経験したことや見聞きしたことと照らし合わせ、他人や自分自身に対して固定したイメージを持つことがあります。その中で、個人の能力や資質とは関係なく、「男性だから」「女性だから」という性別を理由にして、仕事の役割分担や地域との関わり方を決めつけてしまうことがあります。これは「固定的な性別役割分担意識」と呼ばれ、知らぬ間に相手を苦しめたり、風通しの良い組織作りができない、地域の成長がなくなるなど、個人や組織、地域に様々なマイナスの影響を与えることがあります。このようなマイナスの影響を防ぐには「固定的な性別役割分担意識」のもとである性別に基づく一方的な思い込みにとられないことが重要です。

そこで、性別に基づく一方的な思い込みへの対処方法や、取組の考え方をまとめました。

動き出そう「性別に基づく一方的な思い込み」にとられない地域を目指して

POINT 1 気づく

誰もが一方的な思い込みを持つこと、思い込みの中には性別に基づく一方的な思い込みや決めつけがあることに気づきましょう。思い込みには周囲に対してだけでなく、自分自身に対するものもあります。思い込みによる決めつけは様々な弊害をもたらすことを知しましょう。

POINT 2 相手の「個性」や「能力」に着目

性別という属性ではなく、相手の個性や能力に着目して役割分担をしてみましょう。
また、個人の資質を活かす組織設計や評価の仕組みを取り入れることが効果的です。

POINT 3 自分の意識の置きどころを変えてみる

自分の「性別」を理由にして、役職や役割を引き受けることに尻込みすることもあります。
周囲から能力や資質が評価されているのだと、意識の置きどころを変えられるようにしましょう。

POINT 4 周囲の「フォロー」や「理解・協力」が不可欠

様々な人が社会で活躍するためには、周囲からのフォローや、家庭の理解・協力が欠かせません。
誰もが個性や能力を発揮し、相互に助け合えるように仕組みや環境を整えていきましょう。

POINT 5 一人ひとりの能力を活かしているか「点検」

「自分は性別による一方的な思い込みや決めつけなどはしていない」と思う方もいます。
自分の組織や地域において、役割分担は適切か？ 一人ひとりの能力を活かしているか？ 改めて点検する機会を設定してみましょう。

令和6年度農林水産省補助事業 女性が変わる未来の農業推進事業



株式会社マイファームは女性農業者が、自身の能力を発揮して農業における様々な組織で活躍されること、農業を魅力ある職業として選択する方が増加し、地域の農業が活性化することを目指して事業に取り組んでいます

お問い合わせ

メールアドレス: women-pref.r4@myfarm.co.jp
電話番号: 050-3343-7441(平日10:00~17:00)

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑧



トップが導く女性活躍 ～JAみなみ筑後の事例から～

組織のトップが女性活躍を先導
JAみなみ筑後の皆さまを取材しました

女性は農業を支える重要な担い手です。

農業・農村の発展のためには、女性農業者が自身の農業経営だけでなく、農業委員会や農業協同組合、土地改良区といった地域の方針策定に参画していくことが重要です。この取組を進めるためには、組織トップのリーダーシップが欠かせません。

トップが女性活躍を先導したJAみなみ筑後での取組を事例として、女性登用の必要性や、検討過程などにおける、当時と現在の組合長をはじめとした関係者の思いをご紹介します。



JAみなみ筑後
総務部長
鍋田 博敏 さま

JAみなみ筑後について

JAみなみ筑後では、理事として4名の女性が活躍しています(令和6年3月末時点)。令和3年度に総代定数を削減し、女性総代数を増やす取組、同様に理事の定数削減を実施。女性理事の選出を、女性部枠2名選出から、地域枠4名(全理事の20%)選出へ変更しました。

Q「女性の参画を進めようと思った理由は？」

福岡市内での研修会に参加したとき、会場を見渡すとほとんどが男性でした。そのときに講師の先生から

「女性がいらないじゃないか」と言われ、その言葉が印象に残り、強い問題意識を持ちました。農業の現場では女性の活躍が欠かせないのに、意思決定の場に女性がいらないのはおかしいと感じました。組織として女性の参画を進めるため、女性理事の増員に取り組むことを決めました。



JA福岡中央会会長
元JAみなみ筑後代表理事組合長
乗富 幸雄 さま

取組への流れと効果

女性の姿が見えないとの気づき

福岡市内の研修会に参加した際、講師から「ここには女性がいらない」と指摘を受けた。会場を見渡すと、ほとんどが男性だったことに強い問題意識を持ち、意思決定の場に女性が少ない現状を改めるため、役員体制の改革を決意。

女性を地域の代表として選出する仕組みづくり

JAグループ福岡で設定している女性理事15%の目標の達成に向け、女性理事の増員に向けた取組を開始。具体的には、女性理事の選出を「女性部枠」から「地域枠」に変更することで、各地区から女性を選出する仕組みを導入。

想定以上にスムーズな選出と理事会の活性化

選出が難航するなど、地域から反発があるのではないかとという懸念もあったが、地域で活躍されている女性たちが手を挙げ、想定以上にスムーズに選出が進んだ。地域の代表としての女性理事の発言も増え、理事会も活性化。

本インタビューは動画でご視聴いただけます
<https://myfarm.co.jp/women/empowerment/>

動画視聴は
コチラから



JAみなみ筑後代表理事専務
柿原 光行 さま

Q「地域枠での理事就任による変化は？」

以前は女性部からの選出のみでしたが、地域枠を設けたことで、地域ごとに女性理事が選ばれ、女性の意見もより多様になり、地域の課題が具体的に議論されるようになりました。また、女性理事自身も「自分たちの意見が求められている」という意識を持ち、発言が増えました。結果として、より活発で現場に根ざした議論ができるようになりました。

POINT 地域の実情が反映される

現場の実情を踏まえた意見が意思決定に反映されるようになった。

Q「改選後に組合長に就任した印象は？」

女性理事が増えたことで、会議の雰囲気が変わり、より前向きな意見が出るようになりました。これまで以上にチームワークが強化され、協力しながら課題解決を進める空気が生まれています。組織全体が変わってきたと実感しています。



POINT 会議の雰囲気が変わる

理事会での意見交換が活発になり、より多角的な議論が行われるようになった。



JAみなみ筑後代表理事組合長
大坪 康志 さま

Q「女性へのメッセージをお願いします」

私自身、最初は何も分らず不安でした。しかし、やってみると、少しずつ自信がついてきました。誰もが最初は初心者です。だからこそ、まずは一歩踏み出してほしい。女性の声がJAや農業、地域の発展につながると信じています。あなたの意見が、未来を変える力になります。



JAみなみ筑後理事
只隈 貞子 さま

令和6年度農林水産省補助事業 女性が変わる未来の農業推進事業



株式会社マイファームは女性農業者が、自身の能力を発揮して農業における様々な組織で活躍されること、農業を魅力ある職業として選択する方が増加し、地域の農業が活性化することを目指して事業に取り組んでいます

お問い合わせ

メールアドレス: women-pref.r4@myfarm.co.jp
電話番号: 050-3343-7441(平日10:00~17:00)

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑨

「農業女子プロジェクト」について ～概要～

農業女子PJ 

趣旨

「農業女子プロジェクト」（2013年設立）は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ

(2026年2月28日現在)

農業女子メンバー

パートナー
(企業・団体)

はぐくみ隊
(教育機関、部活・サークル等)



全国 **1,120**名



43社



10団体

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子プロジェクトメンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信（それぞれの企業活動の一環として推進）

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関（部活・サークル等含む）と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちにできる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

NEXTラボ

メンバーの関心の高いテーマについて勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信

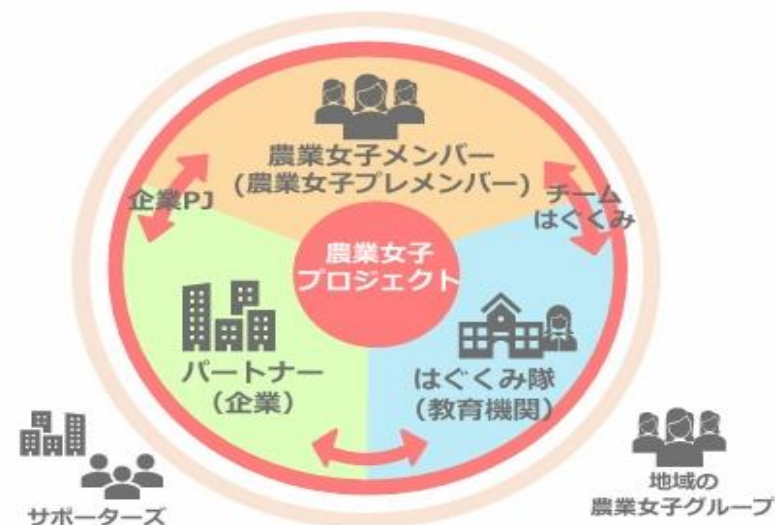


プロジェクトの目的

社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える



第13期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2025年11月～2026年10月)

1. 農業女子プロジェクトのネットワークを活かした学びの提供
2. パートナースによるプロジェクトの多様な展開
3. 「農」の魅力の発信

農業女子プロジェクトメンバーに関するデータ

(2026年2月28日現在)

農業女子PJ



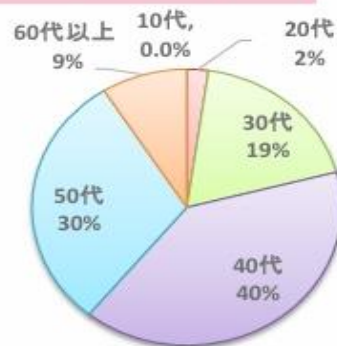
- 農業女子メンバー：1,120名
- 農業女子メンバーは20-40代が6割を占める

農業女子プロジェクトメンバー

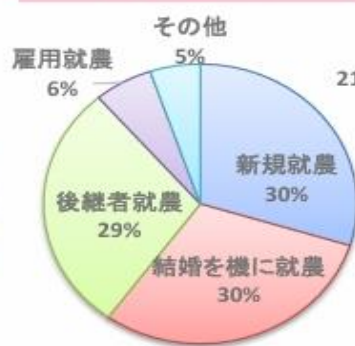
農業女子メンバー（女性農業者）

農業女子プレメンバー（就農を目指す女性） **NEW !**

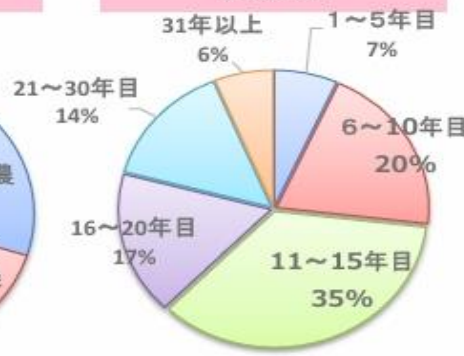
農業女子メンバー
年齢構成



農業女子メンバー
就農ルート



農業女子メンバー
就農歴



農業女子メンバー 農業生産品目



※農業生産品目については複数回答

都道府県別 農業女子メンバー数 (1,120名)



<メンバー募集中>
農業女子メンバー・
プレメンバーの登録は
公式Webページから！



[https://nougyoujoshi.ma
ff.go.jp/join/](https://nougyoujoshi.ma
ff.go.jp/join/)

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑪

“持続可能な社会の実現のために
農業者のわたしたちにできる5つのこと”



5 ジェンダー平等を
実現しよう

農業女子が取り組んでいる「SDGs」につながる活動
の中から5つのメインテーマを抽出し、農業女子に
積極的に取り組んでほしいゴールとして設定。

〔農業女子たちの取組事例〕

その1 健康的な食生活の実現に取り組む



その2 農作業体験から“食”と“農業”の大切さを教える



その3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す



その4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する



その5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む



保育所で「お迎えマルシェ」開催



学校給食への食材提供



小学校での出前授業、収穫体験



農を伝える絵本の制作・読み聞かせ
「AGRI BATON PROJECT」



女性が働きやすい職場づくり



スマート農業を活用した
ストレスフリーな農業経営



町の人たちに地域の農の魅力を紹介



メディアを通じて農への想いを発信



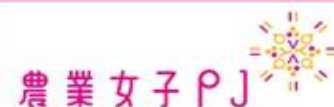
貝殻等の海洋廃棄物を使った
循環型農業



ブドウの搾りかすで肉用牛を肥育



これまでの企業プロジェクトの主な成果



井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

◆農業女子草刈機『プチもあ』 [2017.12]

- ・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



- ◆耕耘機『ちょこブチ』 [2016.12]
- ◆トラクタ『しろブチ』 [2015.6]

カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

◆【Lacuno】シリーズ [2021.1]

- ・手になじみ、作業しやすく疲れにくい
らくらくグリップシリーズ「Lacuno」
(シヨベル・キッズ鎌・鍬)の開発



◆【Lacuno】シリーズ (鎌・鍬・レーキ) [2018.11]

ダイハツ工業

女性目線の軽トラック開発

◆女性目線の軽トラックの開発 [2014.9]

- ・カラフルな全8色のボディーカラー
- ・UVカットガラス採用。
フロアの高さを下げるなど乗降しやすく。



モンベル

農作業も快適な作業着を開発

◆フィールド クールパーカ Women's [2021.1]

- ・農業女子の意見を取り入れて、素材やシルエットにこだわり、暑い季節の農作業を快適にする速乾性・通気性に優れたパーカを開発



◆フィールドもんぺ [2019.3]

◆フィールド レイン ジャケットWomen's・ フィールド レイン パンツWomen's [2018.9]

◆クリマプロ フィールドストレッチ カバーオールwomen's [2016.9]



三越伊勢丹

消費者と農業女子をつなぐ接点の創出

◆三越銀座店でのコラボ商品販売& PJメンバー出店 [2023.11]

- ・PJメンバーの食材を使ったコラボ商品の販売
- ・PJメンバーが出店し、生産品を通じて「農」の魅力を発信



全国農協観光協会

都市住民と農業女子をつなぐイベントを開催

◆農業の魅力を伝える【農業女子つ ・な・ぐPJ】 [2020.11~]

- ・「職業体験EXPO」などのイベントでPJメンバーによる農業の魅力発信
- ・親子で参加できる農業体験の開催



あなたらしさが、 社会のチカラ

令和8年度
男女共同参画週間
6月23日(火) — 29日(月)



内閣府男女共同参画局 ウェブサイト
<https://www.gender.go.jp>



男女共同参画局 Facebook
<https://www.facebook.com/danjokiyodosankaku>



男女共同参画局 X
<https://x.com/danjokyoku>

毎年6月23日から29日までの1週間は

男女共同参画週間

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で
それぞれの個性と能力を発揮できる

「男女共同参画社会」

その実現のためには、政府や地方公共団体だけではなく、
国民のみなさん一人ひとりの取組が必要です。
この機会に、男女のパートナーシップについて考えてみませんか。

— 第6次男女共同参画基本計画 —

男女共同参画社会基本法に基づき、政府が策定する基本計画です。
令和8年3月13日に閣議決定しました。

目指すべき社会

- ① 男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会
- ② 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会
- ③ 仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会
- ④ あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、SDGsで掲げられている包摂的かつ持続可能な世界の実現と軌を一にした取組を行い、国際社会と協調する社会

【男女共同参画がつくる多様性の社会】⑭

農林水産業の発展、農山漁村への人材の呼び込みのためには・・・



女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要です。

北陸4県の現状はどうか？



◇農業委員に占める女性の割合

現状(令和6年)					第5次男女共同参画基本計画の成果目標(全国)
	委員数	女性農業委員数	割合(%)	前年比(%)	
全国	23,016	3,323	14.4	0.4増	女性の割合: 20%(早期) 30%(令和7年度) 【参考:第6次基本計画】 女性の割合: 20%(早期) 30%(令和12年度)
新潟	486	67	13.8	0.5増	
富山	256	34	13.3	0.5増	
石川	254	39	15.4	0.3増	
福井	240	38	15.8	0.2増	
北陸合計	1,223	178	14.6	0.4増	

農林水産省「農業委員への女性の参画状況」(令和6年10月1日現在)

◇農業協同組合の役員に占める女性の割合

現状(令和7年)					第5次男女共同参画基本計画の成果目標(全国)
	役員数	女性役員数	割合(%)	前年比(%)	
全国	13,019	1,527	11.7	0.6増	女性の割合: 10%(早期) 15%(令和7年度) 【参考:第6次基本計画】 女性の割合: 15%(早期) 20%(令和12年度)
新潟	277	35	12.6	0.1増	
富山	325	34	10.7	0.1減	
石川	354	41	11.6	±0	
福井	69	6	8.7	±0	
北陸合計	1,025	116	11.3	0.4増	

JA全中「JA女性役員等調査」(令和7年7月未現在)

◇土地改良区(土地改良区連合を含む。)の理事に占める女性の割合

現状(令和7年)					第5次男女共同参画基本計画の成果目標(全国)
	理事数	女性理事数	割合(%)	前年比(%)	
全国	43,551	1,136	2.6	1.2増	女性の割合: 10%(令和7年度) 【参考:第6次基本計画】 女性の割合: 10%(令和12年度)
新潟	843	17	2.0	1.0増	
富山	894	14	1.6	0.9増	
石川	582	8	1.4	0.8増	
福井	1,464	8	0.5	0.2増	
北陸合計	3,783	47	1.2	0.6増	

農林水産省「土地改良団体における女性理事登用状況」(令和7年3月31日現在)

◇認定農業者数に占める女性の割合

現状(令和7年)			第5次男女共同参画基本計画の成果目標(全国)
	割合(%)	前年比(%)	
全国	5.4	0.1減	女性の割合: 5.5%(令和7年度) 【参考:第6次基本計画】 女性の割合: 6.0%(令和12年度)
新潟	2.7	±0	
富山	4.3	0.2減	
石川	3.8	0.4増	
福井	11.0	1.4減	
北陸合計	3.5	0.2減	

農林水産省「農業経営改善計画の農業類型別等認定状況」(令和7年3月未現在)



◇家族経営協定の締結状況

現状(令和7年)			第5次男女共同参画基本計画の成果目標(全国)
	締結数	前年比(数)	
全国	59,731	144増	70,000件 (令和7年度) 【参考:第6次基本計画】 女性の割合: 50%(令和12年度)※
新潟	1,253	19減	
富山	292	1減	
石川	287	20減	
福井	304	6減	
北陸合計	2,136	46減	

農林水産省「家族経営協定に関する実態調査」(令和7年3月31日現在)

※第6次男女共同参画基本計画より成果目標が締結数から主業経営体に対する家族経営協定の締結割合に変更

「家族経営協定」とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

2024. 1 月

MARUYAMA
次の100年を創る
-All for the Future-

刈払機 LPB2210U かる～の

農業女子PJ[※]メンバーの方の意見を参考に
女性のための草刈機を作りました。

・肩が痛くて気持ち悪くなる ・もっとカワイイ機械が欲しい ・夏の暑い作業が大変 etc...
初めて機械を使う方からプロの方まで満足していただける機械になりました！



軽～くかる～の

女性に優しい軽量タイプ！
マジかるスタートでエンジン始動も
軽く行えます。

ここに保冷剤を入れられます！

両肩&腰で掛ける”Lバンドここちe”
で肩がラクに、暑い日の作業でもポケットに
保冷剤を入れれば快適作業♪
Lバンドここちeの裏地にもピンクを採用♪

シャフトの長さや刃の角度などいろいろ試していただき、
女性が使いやすい形を農業女子メンバーと一緒に追求しました！

機械に振り回されてしまう。

ギアケースの角度を変更！
小回りが利いて使いやすいと好評です。

操作方法を簡単に確認したい！

QRコードでHOWTOガイドが
ご覧になれます。

なんだか機械がフィットしない。女性の体に合わせて欲しい。

左ハンドルの高さを上げて自然な体勢でハンドルを
持てるようにしました。



農業女子PJ[※]メンバーの声から誕生した
草刈機『かる～の』の相棒！

しバンド
Leここちe

抱っこ紐やリュックを参考にして両肩バンドと
腰バンドで重さを分散！肩が楽で **ここちe**

肩が疲れる
首すじが圧迫
されて吐き気も...

しっかりとした
バンドは楽だけど
夏は暑そう...

スマホとか
携帯電話を入れられる
ものがあると便利

機械の取り外しの
金具をもっと簡単に
取り外せるようにして



保冷剤を入れれば
涼しくて **ここちe**
ポケットにはハンカチも
入れられるよ！



肩バンドや腰バンドに
装着できるポーチも付けました！
スマホや工具、飴を入れたり
使い方はいろいろ！



機械の取り外しはレバーで
簡単に！



「農業女子プロジェクト」とは？

「農業女子プロジェクト」は農林水産省が推進する官民連携の取り組み
の一つで、女性農業者が日々の中で培った知恵を企業と結びつけ、新た
な商品やサービスを広く社会に発信していくプロジェクトです。
農業で活躍する女性の姿を多くの皆様に知っていただき、社会全体での
女性農業者の存在感を高め、職業として農業を選択する女性の増加を
図ります。

●仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。
●価格には消費税および送料は含まれません。別途申し受けます。
●メーカー希望小売価格(税込・標準10%)は、予告なく価格変更することがありますのでご了承ください。

(カタログの内容についてお問い合わせは下記までご連絡ください)

注意 ★取扱説明書をよく読んで安全な作業を行ってください。

MARUYAMA

株式会社丸山製作所 本社/〒101-0047 東京都千代田区神田3-4-15 <https://www.maruyama.co.jp>
お客様相談窓口(丸山サポートセンター) 無料通話 0120-898-114

2024年1月作成
530093



農業女子PJ × TOWA CORPORATION

農業女子とのコラボ企画

農業女子メンバーの手袋に関するお悩みは？

ゴム手袋は手が蒸れる・・・
カラフルでかわいい手袋が少ない・・・

LOTTI & 快適さららインナーが誕生しました！

手袋使用時のムレの悩みを解決！！

1. 天然ゴム手袋Lotti
2. 快適さららインナー

作業性バツグン

吸放湿性

柔らかくて丈夫

抜群のフィット感



ORANGE



PURPLE



RED



BLACK



LOTTI & 快適さららインナーをセットで使うことで...

- ・作業中のムレを軽減！
- ・手袋の脱ぎはめがスムーズ！
- ・洗濯可能なインナーでいつでも清潔！
- ・選べる4色展開

モニターしていただいた農業女子の声は・・・

- ・ムレが減って、作業がしやすくなった！
- ・インナーをすることで汗が気にならなくなった！
- ・フィット感が良く、インナーだけでも使える！
- ・他の手袋とのコーディネートが楽しい！ etc

関東和コーポレーション通販サイト
“手袋ライフ”から購入できます。

<http://www.tebukuro-life.com/>

手袋ライフ

検索

